

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成29年2月28日発行

さあ、社会教育の出番！ 皆の心にファイヤーを！！

平成29年1月13日（金）は、鳥取県の社会教育関係者にとって画期的な一日になりました。全市町村ではないものの、県内各地から課題意識を持って参加された社会教育委員、各市町村の担当者総勢70名の合同研修会が開催されたからです。アンケートにも「社会教育委員になって、はじめて有意義な会に参加した。」「自分のやるべきことがわかった。」という意見が多く書かれており、文字通り社会教育関係者の心に火がつけられた一日でした。

1. 県教育委員会の熱い思い！！



岸本係長

担当者みなさん、社会教育委員さんは何人おられますか？そして全員の名前を言えますか？・・・「やる気はあるが委員として何をしたらよいかわからない・・・」そんな思いをぜひ全員で共有する会にしましょう。



福田補佐

教育委員会は合議制ですが、皆さんは、住民の代表として一人で動けます！・・・「悩みは薪」と先人も言っていますが、その薪に火をつけるのは誰でしょうか？そうです、皆さんです！どんどん地域に出て、実情を把握しましょう！

私たちが、年2回の会議に意見を言っても何も変わらないじゃないか・

何のための会議？
建て前？ いろいろ悩む立場の委員です・・・



本音

2. 西部地区担当者の熱い思い！



伯耆町

「年2回の会議で何が変わるんだ！」という委員からの声があり、計画を見直しました。事務局に提言するには、実態把握しかありません。館長に地域の実態を毎月聞きました。



南部町

年4回の会議を、年間報酬12,000円をお願いしています。各種行事にはどんどん参加していただき、昨年度は劇団(笑)も結成しました。委員をその気にする「三ヶ条」をお話します・・・

3. 社会教育委員・全県担当者の熱い思い!

演習の様子です。

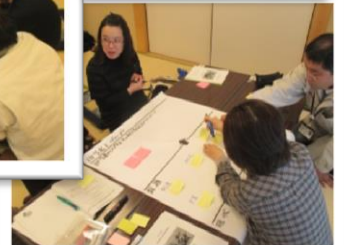
「社会教育委員から担当者へ」「担当者から社会教育委員へ」
それぞれ本音を出し合いながら、現状と課題を整理します。



社教委チーム



担当者チーム



ポスターセッション方式で、互いの「本音」を
伝え合い、改善策を絞ります。

ちゅうぶくん

～だれかのために～



我々に遠慮するな!



担当者も熱くなれ!



来年度の鳥取大会にむけて、
まず自分から動きましょや!

社会教育委員
にハンドブックを
配布。複製

メッセージの欄に、こんな付箋を発見しまし
た。「社会教育委員全員にハンドブックを
配布」なるほどー! 「売られている『社会教育
委員の手引き Q&A』は、何回か読むとわかる??
ような気がするけど、難しいところもある。(あ
る社会教育委員さんより)」という声もありまし
た。いかがでしょう、皆さん! 鳥取大会も控え
ていることすし、鳥取版の『手作りハンドブッ
ク』を私たちが作成してみませんか?

中部教育局 社会教育担当 西村信彦

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail nishimuran@pref.tottori.jp

合格祈願

全ての力を出し切って!